2020 年度実施概要

学校名

羅臼町立羅臼幼稚園

採択活動名

知床学（海洋教育）～地域の自然とのつながりを深める～

実施単元　※実施した単元の数に応じて記載してください

体験名	学年	教科
さんぽ		知床学
かせんじきであそぼう		知床学
まちたんけん「みなとにいってみよう」		知床学
クリーンさくせん		知床学
らうすをしろう		知床学

取り組みの概要

昨年度は、地域の産業等に関わる内容を設定し、遊びを通して、幼児が地域の産業の魅力を感じるとともに、地域への愛着を育むことができた。また、身近にある海や浜の汚れなど、環境の様子に疑問をもつ幼児の姿が見られた。

こうしたことから、今年度は、幼児が身近な環境に親しみながら地域の自然とのつながりを深めることをねらいとし、幼児が多様な体験をすることができ、体験の一つ一つが相互に結び付くように計画した。

５月には、身近なものに興味・関心をもつことをねらいとして、羅臼の町を探検する体験を行った。体験では、幼児が気付きや発見を伸び伸びと表現できるよう、幼児一人一人の言葉に耳を傾けるようにした。幼児は、発見したことを喜んで教師に伝えたり、友達に伝え合ったりしていた。

７月には、季節の変化などを感じ取り、自然と触れ合うことをねらいとして、河川敷で遊ぶ体験を複数回行った。幼児は、季節の変化を感じ取りながら、身近にあるものを使い、遊びを通して羅臼町の自然に関心をもっていた。

８月には、地域の自然とのつながりをもつことねらいとして、羅臼の町の探検の範囲を広げて、漁港に探検に行った。幼児は、水揚げされた魚の名前を知ったり、食べたことのある魚を見付けたりしながら、地域の自然とのつながりに気付いていた。

10 月には、これまでの「さんぽ」や「かせんじきであそぼう」などの体験を通して、幼児は、浜のごみが多いことに気付き、「きれいにしたい」という思いをもっていたことから、浜のごみを拾う「クリーンさくせん」を行った。幼児は、「クリーンさくせん」を通して、自然を大切にしようという思いを深めていた。

１月には、羅臼小学校の第５学年児童と「らうすをしろう」というテーマで交流をした。幼児は、これまでの体験を結び付けながら、羅臼町の自然や建物、イベントなど、第５学年の児童が発表した内容を楽しみながら聞いていた。

このように幼児の多様な体験の一つ一つが相互に結び付くように取り組んだことにより、幼児が身近な環境に親しみながら地域の自然とのつながりを深めることができた。